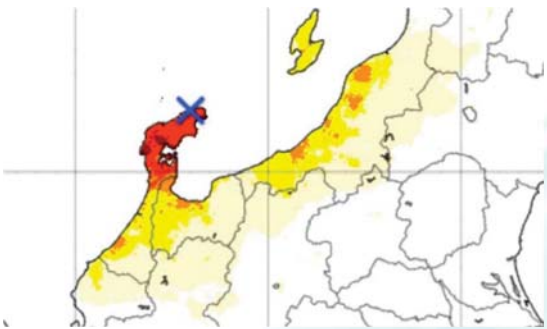


能登半島地震時の避難行動について

令和6年5月23日
寺泊野積荒谷地区
自主防災会会長
本多親司

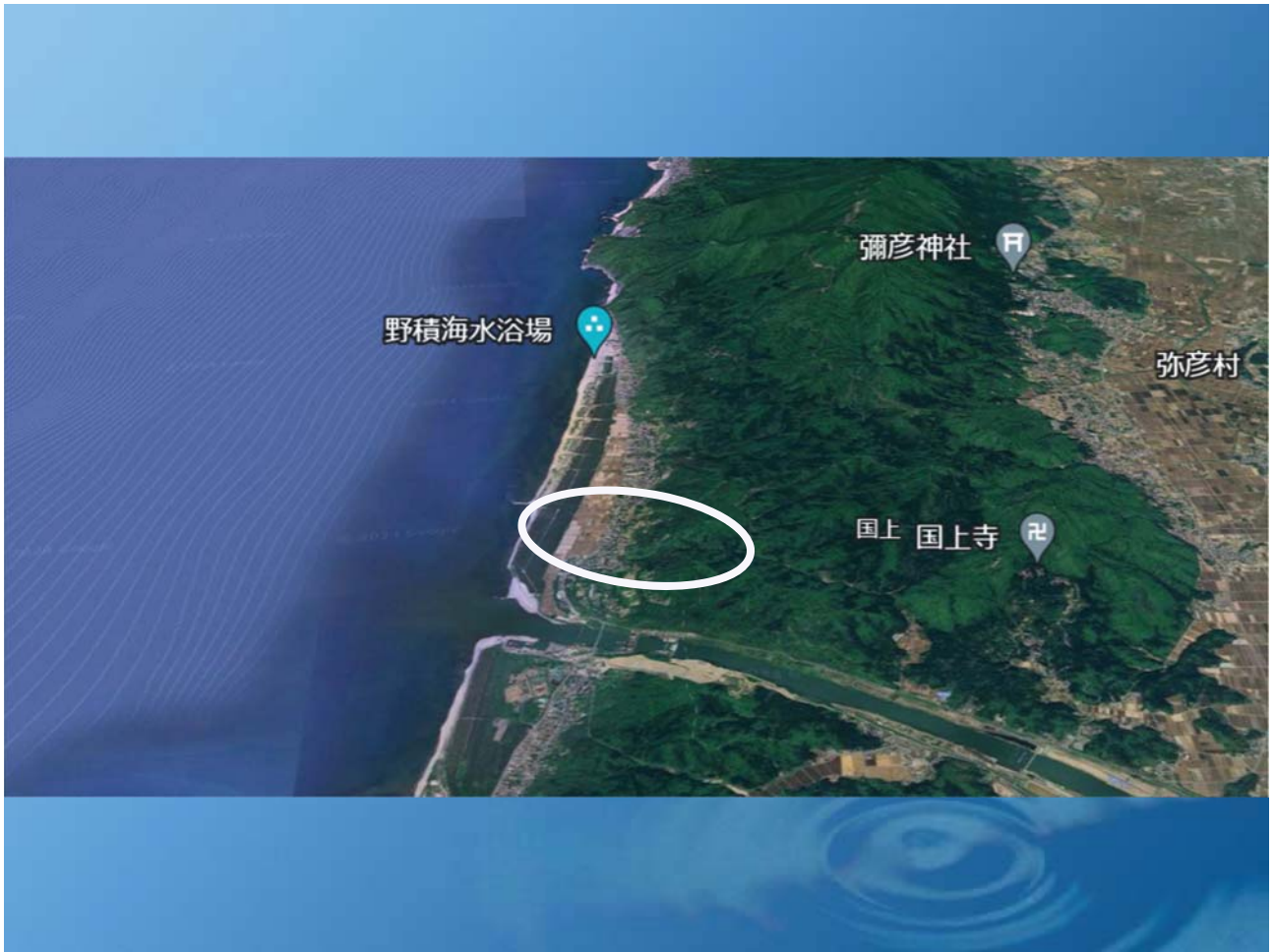


地域の紹介 1



長岡のハワイ？

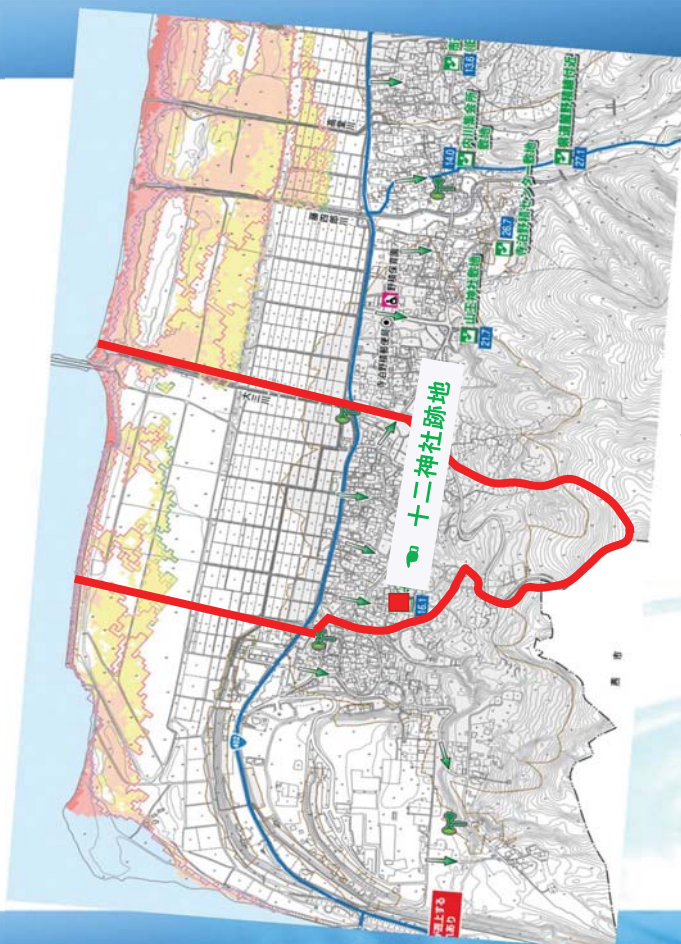




地域の紹介 2

地域の特徴	漁業がなりわいではなくなっている。 高齢化の進展
地域の大きさ	戸数 53戸 152人

津波防災の面での野積荒谷地区



津波ハザードマップでの緊急避難先は十二神社敷地（標高16m）が最も近い。

防災組織と活動 1

【地域の防災活動】

8年前までは津波避難は想定せず

・応急手当 ・防災備品点検など



8年前から「津波からの避難を想定しての訓練」に。

東日本大震災の被災地訪問も契機に



防災組織と活動 2

【防災訓練のお知らせ】

荒谷地区自治会
会長 本多親司

- 「目的」 想定される **10m以上の津波に備え、安全なところに避難する**
- 「日時」 平成28年10月23日（日） 午前8時開始
- 「方法」 各家庭から午前8時になったら指定の避難場所に逃げる
【避難先】 **1班～5班の皆さん** ●●さんの畑の国上山道に
6, 7班のみなさん ◆◆さん宅の上の国上山道に
- 「注意事項」
- ①避難持ち出し品を背負い、**普通で歩く**
 - ②班長は名簿に基づき避難者のチェック。 避難場所到着時間を記録
- 「避難訓練の後」
- ・避難訓練の結果確認と防災機器の点検
 - ・高齢者をリヤカーで搬送する確認を行う

津波避難訓練の様子



平成27年の避難訓練



令和元年10月の訓練

避難のための準備



集落中心部 9m



避難場所登り口
11m



避難場所 30m

津波避難訓練の結果

午前8時に避難開始して、所定の避難場所（標高30m、45m）に到着できる時間は5分から10分だった。



今年1月1日の地震対応 1

寺泊地区の震度は震度4

（寺泊一里塚～海岸部）
（寺泊敦ケ曾根では震度5強）

【1月1日 午後4時過ぎに私が取った行動】

- ・テレビで「津波警報」が発令されたことを知った。
- ・津波の高さが 30cm との事で、避難しなかった。

◆結局、私は避難場所には行かなかった。
もちろん 大きな反省！！

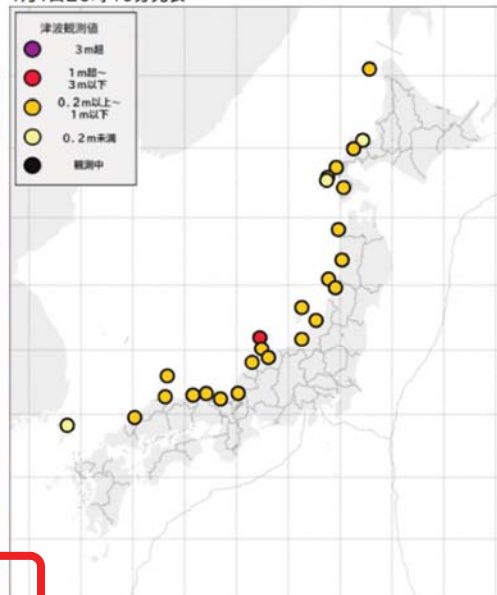


津波の観測状況

【主な観測点の観測値】

観測点名	該当予報区名	第一波 到達時刻	これまでの 最大波	高さ
輪島港	石川県能登	1日16:10	1日16:21	1.2m以上
金沢	石川県加賀	--	1日19:09	0.9m
酒田	山形県	1日17:12	1日19:08	0.8m
富山	富山県	1日16:13	1日16:35	0.8m
瀬棚港	北海道日本海沿岸南部	1日17:54	1日18:26	0.6m
奥尻島奥尻港	北海道日本海沿岸南部	--	1日18:07	0.5m
七尾港	石川県能登	1日16:37	1日18:59	0.5m
敦賀港	福井県	1日17:33	1日20:28	0.5m
飛島	山形県	1日16:57	1日17:52	0.4m
柏崎市鯨波	新潟県上中下越	1日16:31	1日16:36	0.4m
豊岡市津居山	兵庫県北部	--	1日19:20	0.4m
江差	北海道日本海沿岸南部	1日17:55	1日19:45	0.3m
深浦	青森県日本海沿岸	1日17:02	1日18:04	0.3m
新潟	新潟県上中下越	1日16:56	1日17:09	0.3m

1月1日20時40分発表



今年1月1日の地震対応 2

【地域の人達が行った行動】

- ・防災組織としての行動は取らなかった ➡ 個人の判断
- ・避難訓練で取り決めた地点に避難したのは20名程度
- ・行動(避難)開始まで5分～10分かかっていた

訓練していたような避難行動は取れなかった
(初動の遅れ、避難者数)

今年1月1日の地震対応 3

【寺泊地域の人達がとった行動】

- 1, 車での避難が散見された。 荒谷でも車避難あり
- 2, 緊急避難場所(市指定)に向かった人と
自主避難場所に向かった人とあり
- 3, 津波警報解除がない中、各自判断で自宅に戻った人多し

今年1月1日の地震対応 4

【地域の方の地震対応での感想は？】

- ・避難するか、留まるか行動に迷った
- ・家族揃っての避難に時間が掛かった
- ・車で避難と思ったが・・・迷った
- ・避難先をどこにするか判断に迷った
- ・避難指示、掛け声がないと・・・

避難場所



1月1日の地震で感じた大切なこと

【今後の取組みにつなげる】

- 1、今までの避難訓練は間違っていない
 - ➡標高30m以上の避難場所に10分以内で避難する。
 - ➡訓練通りの行動がとれない事が判明 理由を把握し対策必要
- 2、要支援者と一緒に避難する
 - ➡地区の要支援者に対する支援者を決めて訓練で実施する
- 3、地震に対する対策～ 家屋の耐震性強化
 - ➡地震被害予測を理解する
 - ➡長岡市の耐震診断や耐震補強工事への助成を知る

今後取るべき対策

- 1、地域で定めた一時避難場所への避難訓練を続ける
- 2、高齢者、要支援者がもれなく避難できる状況を作る



- 3、家屋の倒壊への対応（助成制度）を周知する

能登半島地震でも県内に津波の痕跡が

上越市でも5.8m
の津波の高さ（遡
上高）が確認され
ました。



上越市船見公園（新潟県）〈遡上高〉

以上で終わります

継続して 津波、地震 への対応を地域一丸
となって進めます。
ご清聴ありがとうございました。